

研究実施のお知らせ

2018年1月19日 ver.1.0

研究題目

AL アミロイドーシスに対する造血幹細胞移植の後方視的検討

研究の目的

本邦におけるAL アミロイドーシスに対する造血幹細胞移植の成績と予後因子を後方視的に解析し、造血幹細胞移植の有用性を検証します。

研究の方法

・ 二次調査の対象

「移植登録一元管理プログラム(Transplant Registry Unified Management Program: TRUMP)」に登録された「単クローン免疫グロブリン沈着症(アミロイドーシス)」症例のうち、1999年12月から2015年12月までに造血幹細胞移植(複数回移植を含む)が施行されたすべての自家造血幹細胞移植症例が対象です。

・ 調査項目

アミロイドのタイプ、血清・尿中M蛋白、アミロイド浸潤臓器、染色体異常、UA、NT-proBNP、BNP、トロポニンT、FLC、寛解導入療法、幹細胞採取レジメン、移植前 Best response(血液学的効果・臨床効果)、造血幹細胞移植後治療、移植後 Best response(血液学的効果・臨床効果)、転帰および最終観察日。

・ 調査方法

調査票を用いて上記の調査項目データを収集します

・ 情報提供機関

日本造血細胞移植データセンターが収集し、研究代表者が解析します

研究期間

研究承認日～2024年3月(予定)

データ収集期間：2018年2月28日まで

研究組織

日本造血細胞移植学会 多発性骨髄腫ワーキンググループ(WG)

研究代表者

独立行政法人地域医療機能推進機構京都鞍馬口医療センター 淵田 真一

WG 責任者

金沢大学医薬保健研究域医学系細胞移植学 高松 博幸

共同研究者

日本赤十字社医療センター 塚田 信弘

自治医科大学附属さいたま医療センター 河村 浩二

独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター 角南 一貴

研究に参加する研究機関

国内で造血幹細胞移植を実施した医療機関で、本研究の趣旨に賛同し、参加を表明した施設

個人情報について

本研究では個人情報(プライバシー)を保護するため、患者の氏名、現住所、電話番号を取得しません。調査対象医療施設内での患者の同定のため、施設内でのみ氏名やカルテ番号情報との連結が可能となっています。医療情報は登録番号を用いて同定され、研究の結果が公表される場合にも患者のプライバシー保護に配慮いたします。

情報の利用停止について

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2018年3月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

当院の研究責任者

島根大学医学部附属病院 腫瘍・血液内科 高橋 勉

TEL: 0853-20-2308

FAX: 0853-20-2555

E-mail: ben2106t@med.shimane-u.ac.jp